

平成 25 年 5 月 1 日

2013 年度（平成 25 年度）関西福祉大学看護学部
一般入学試験前期日程第 1 日程「生物」における出題ミスについて

関西福祉大学
学長 安井 秀作

平成 25 年 1 月 29 日(火)に実施しました関西福祉大学看護学部一般入試前期日程第 1 日程において、選択科目「生物」の試験問題の一部に出題ミスがあることが判明いたしました。

厳正・公正に実施されるべき入学試験において、受験生及び保護者の皆さま、並びに学校関係者各位へ多大なご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

つきましては、今回の出題ミスの内容及び対応について、下記のとおりご報告申し上げますとともに、今後このようなことが発生しないよう、全学を挙げてチェック体制を強化し、再発防止に取り組んでいく所存でございます。

記

1 内容

「生物」の大問第 5 問の間 4（別紙参照）では、文脈上「次世代 (F_3) の果実」を示すことを前提に、正答を④としていましたが、この設問文の解釈によっては、同じ F_2 の中で「黄色」になるものとはれなくもなく、その場合は①という解答も可能であり、複数正解の可能性が排除できないことが判明しました。

なお、試験実施時には、受験者等から本件への指摘はありませんでした。

2 対応措置について

選択肢①と④の両方を正答として、当該設問について選択肢①を解答していた受験者（4 名）全員に対して、正解として当該設問の配点 2 点を加点した後、再度採点・席次計算を実施した結果、合否結果への影響はありませんでした。

なお教育的配慮から、今後当該入試問題を公開する際には、設問文を修正し発表することといたします。

以上

【本件への問い合わせ先】

関西福祉大学入試センター

TEL : 0791-46-2500

第5問 カボチャの果実の色の遺伝に関する次の文を読み、下の問い(問1~8)に答えなさい。

カボチャの果実の色には、黄色、緑色、白色があります。これらの色は連鎖していない2組の対立遺伝子が関与していると考えられています。すなわち、1組は黄色にする優性遺伝子Yと緑色にする劣性遺伝子y、もう1組は白色にする優性遺伝子Wと緑色にする劣性遺伝子wです。また、WはYよりも働きが強く、同時に存在する場合は果実は白色になります。

問1 果実の色が白く遺伝子型がWWYYのものと、緑色で遺伝子型がwwyyのものを親(P)として交配して得た雑種第一代(F₁)を自家受精すると、雑種第二代(F₂)の黄色、緑色、白色のカボチャの数ほどのような比(黄色:緑色:白色)に分離すると思えますか。最も適当なものを、次の①~⑦のうちから一つ選びなさい。 33

- ① 3:1:12 ② 3:3:10 ③ 4:3:9 ④ 6:1:9
 ⑤ 9:1:6 ⑥ 9:3:4 ⑦ 12:1:3

∫

途中設問省略

問4 F₂の黄色の果実をつける個体のなかで、自家受精させると黄色の果実だけをつける個体は、F₂の黄色の果実をつける個体のおよそ何%を占めると考えられますか。最も適当なものを、次の①~⑤のうちから一つ選びなさい。 36

- ① 100 ② 67 ③ 50 ④ 33 ⑤ 25